

鐘撞堂山ハイキング



2004年3月14日(日)「鐘撞堂山ハイキング」に出かけました。場所は、埼玉県寄居町、八王子駅から八高線を利用して行きます。寄居町は、鉢形城の城下町として栄え、展望の良いこの山に鐘撞堂が置かれたそうです。残念ながら今は鐘撞堂はありませんが、鐘の音が聞こえてきそうな山の名前に心惹かれてしまいます。暖かくなってきたからか？鐘撞堂山の名前に惹かれてか？今回は、久しぶりに8名の参加者で賑やかです。

観光案内所で地元の農産物を購入し、それをそこに預けて出発します。登山道に入る手前で小野さんのハイキングシューズに異変が…。左足のかかと部分のアウトソールが剥がれてきたのです。歩きにくく、放っておくと全て剥がれてしまいうに違いありません。足裏の真ん中から足の甲をロープで巻いて応急処置をします。幸運にも山道を歩く間はもちこたえましたが、舗装路に出たところで、両足のアウトソールは完全に剥がれてしまいました。それでも、無事、駅までたどり着くことができてよかった。原因は、ゴムの老化現象。出かける前には、シューズの状態をチェックしましょう！特に古いシューズ、さらには長い間履いていないシューズは要注意。



発車 1 分前！

今年 3 回目のハイキング。ここ 2 回は、小野さん、桜井さん、町田の 3 名パターンが続きました。今回は、小野さん、桜井さん、加藤夫妻、宮部さん、横山さん、板垣さん、町田の 8 名。宮部さん、横山さん、板垣さんは 12 月の「石割山ハイキング」以来、加藤夫妻は、10 月の「黒山三滝ハイキング」以来と、なんだかお久しぶりです。宮部さんの奥さんは、足の筋を伸ばしてしまい、お休みです。

8 時 04 分の高麗川行きの電車に乗るために、八高線のホームへ移動すると、8 時 01 分川越行きとなっています。なんと、昨日 3 月 13 日ダイヤ改正があったということ。「8 時 04 分の電車ですね」とトイレに行った桜井さんは、間もなく 8 時になるうというのに出てきません。加藤さんの奥さんが様子を見に行き、発車 1 分前に桜井さんが出てきて、なんとか間に合います。いきなりヒヤヒヤ。

コーヒー焼酎にカボチャ

さて、予定通りの電車に乗れてほっとしたところで、加藤さんが、お茶のペットボトルと取り出し「ちょっとやってみる？」「何ですか？」「まあいいから」と、ポケットサイズのウイスキーについている小さなカップに半分ほどの焦げ茶色の液体を渡されます。口に入れるとなんとアルコール！「ウイスキーですか？」でも、どうやら違うらしい。実はこの液体、焼酎＆コーヒー。作り方は、焼酎 500ml にコーヒー豆ひとつかみを入れて約 3 日間、浮いていたコーヒー豆が沈んだら飲み頃ということです。同じく加藤さんがちょっとつまみにと出したのがカボチャの種。血管の老化防止によろしいようで、加藤さんは、これのお陰で血圧が下がったそうです。

まずは買い物

高麗川駅到着は、8 時 48 分、ダイヤ改正前と同じでした。ここで、9 時 01 分発のディーゼル列車に乗り換え、9 時 56 分、寄居駅で降りました。トイレをすませ、まず向かったのはハイキングコースとは、反対側の南口にある観光案内所。情報収集より地元産の農産物を物色するのが目的です。入ってみると、期待を裏切らず、まず目に入ったのが地酒、そして、蒔の薑やユリ根、切り干し大根などで、値段も手頃です。観光客だけでなく、地元の人買い物に訪れるそうで、ハイキングを終えて立ち寄っても、人気の商品はなくなってしまうそうです。ただ、買った商品は預かってくれるということなので、みんな、



欲しいものを購入して名前を告げて預けることにしました。

小野さんのシューズが...！

北口に移動して、いよいよ出発です。駅前の道を直進して、突き当たりを右折、交差点を左折してしばらく行き、国道 140 号線を越えて大正池を目指して歩きます。後方を歩いていた加藤夫妻が手をあげて呼んでいます。一緒に歩いていた小野さんのハイキングシューズが壊れてきているのでした。ゴムが老化して左足かかと部分のアウトソールがミッドソールから剥がれているのです。歩きにくいし、放置すると全部剥がれてしまいそうです。“ どうしよう？ 駅まで戻り新しいシューズを買うか？”小野さんは、緊急用に持ち歩いているロープとナイフを取り出し、応急処置をするつもりです。シューズの裏側の中心部分から足の甲にかけてロープを二重に巻いて縛ります。“ なんとかかなりそう”それと、小野さん本人が戻る気はなく、これで行く気ですから壊れかけたシューズに懸けることにしました。「先月もこのシューズでしたっけ？」「いや、久しぶりに履いた」なるほど。購入してからの期間が長く、履かない期間があるとゴムの老化の進行が速まります。古いシューズでも履き続けると案外老化しにくいのです。何足か持っている場合は、シューズの特徴やコース状況にもよりますが、交互に履くとういと思います。

山火事

10 時 55 分、大正池に到着します。のどかな田舎にある農業用の溜池なのですが、ちょうど、ボーイスカウトの集団がいて、リーダーが「この池は、鉢形城が攻め落とされたとき、その悲しみでお姫様が流した涙でできたのです」と説明していました。

大正池から、少し行くと、ゲートがありここから未舗装の林道になり、さらに 15 分ほどで、道は二また





に分かれ、右方向に鐘撞堂山の表示がありました。ここから、道が細くなり、登山道が始まります。それほどきつい上りとも思わないのですが、天気良く気温も高いためか、体温はぐんぐん上昇していきます。まわりの杉林が竹林に替わるとすぐ、明るい平坦な場所に出ます。右側には竹炭を作って販売する小屋がありました。ここは、かつて“馬騎ノ内”という集落があった場所ということです。炭焼小屋を見物し、上昇した体温調節のためウェアを脱ぎます。加藤さんの奥さんと町田は、半袖Tシャツになり、もう脱ぐ物なしです。出発間際、炭焼小屋の主が、「タバコを吸う人はいますか？山頂付近で山火事があったので、火には気をつけて下さいね」タバコを吸う町田はドキッ！すかさず小野さんが「タバコを吸う人はいないから大丈夫」とフォローしてくれました。



鐘撞堂は無かった

炭焼小屋から10分ほど上ると“円良田湖”と“鐘撞堂山”との分岐があります。私たちは、山頂へ行き、ここまで戻って円良田湖へ向かうことになります。山頂への上りは短くて急ですが、老若男女は上り下りできるように木段が設置されています。

11時45分、山頂に到着。山頂はハイカーがたくさんいて賑やかです。目立ったのは炭でバーベキューを楽しんでいるグループ。炭焼小屋の主の注意はいったい...？案内板によると、鐘撞堂は、豊臣秀吉の小田原征伐の際、取り去られたそうですが、眼下の見晴らしは十分です。昼食は円良田湖でのんびりと、ということで山頂をあとにします。





奇妙な円良田湖

木段を下り、先ほどの分岐を円良田湖方面に下ります。陽当たりの良い、傾斜が緩やかなほとんど直線の下りで、途中からアスファルトの道になります。なんだか物足りないような気もしますが、小野さんのシューズの状態を考えると本当にこの程度の山でよかったかな。山頂から25分で円良田湖に到着。



加藤さんは釣りで、町田はサイクリングで何年も前に円良田湖に来たことがあり、のどかな風景を期待していました。ところが、円良田湖は変わっていました。湖の中にへらブナ釣り用の通路が設置され、湖の中に釣り人がたくさんいて、奇妙なのです。こんな湖、見たことないし、こんな風になる前ののどかな風景を知っているとなおさらです。まあ、釣り人にはかなり便利なのかも？



小野さんのシューズは、アウトソールがすべて剥がれていました。左のみならず右もほぼ同じ状態。湖の環境の良いところで昼食としたいところですが、極力歩行距離を減らさないと、いつ穴があくかもしれないのです。適当な場所でお弁当を広げることになります。食前酒に、加藤特製コーヒー焼酎が登場し、食後に、老化防止のカボチャの種が振る舞われました。

五百羅漢と千体荒神

13時過ぎ出発します。少林寺の標識に従い、再び未舗装の道に入りましたが、岩や砂利はほとんど無いやさしい土の道でした。5分ほど上ると石仏のある広場になっていました。「なあんだ、ここで食事にすればよかった…」ここが羅漢山で、説明書きを見ると「山麓から山頂まで510余体の羅漢石仏（山に向かって左側）と千体荒神の石碑（右側、現存960余）は、その数と保存において関東一……」とあります。「これから下る少林寺までの道の左側に千体荒神、右側に羅漢様が並



んでいる」と解釈したのです。ところが、実際下ってみると、右も左も羅漢様に見え、千体荒神石碑との区別が付きません。それもそのはず、後で調べてみると、羅漢山から少林寺へ下る道はふたつあり、ひとつが「五百羅漢の道」、もうひとつが「千体荒神石碑に道」で、私たちが下りた道とは別に、広場の奥に「千体荒神石碑の道」があったわけです。ちなみに、羅漢は悟りを開いた聖者で、荒神はかまどなどにまつられる火の神、あるいは地域の守護神ということです。



少林寺で記念撮影をして、ここからは、舗装路を寄居駅まで歩きます。観光案内所で朝買った農産物を受け取り、地酒を購入し、ホームで乾杯。さらに、橋本で久しぶりの打ち上げを行いました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577- ホ -22-101 042-793-1271

